



第127回 中部日本整形外科災害外科学会・学術集会

The 127th Meeting of The Central Japan Association of Orthopaedic Surgery and Traumatology

整形外科の glocalization

会期 平成28年9月30日(金)・10月1日(土)

会場 まつもと市民芸術館 ホテルブエナビスタ

会長 加藤 博之(信州大学医学部運動機能学教室)

演題登録要項

演題登録期間 2016年4月13日(水)～2016年5月13日(金)

演題登録方法 ●インターネットによるオンライン登録のみといたします。学会ホームページからご応募ください。

●演題の採否、発表形式ならびに発表日時については会長にご一任ください。

●演題採否、発表通知は2016年8月頃、e-mail でご連絡いたします。

注意事項

●演題応募者のコンピューター環境による原因で演題登録ができない場合、事務局では一切責任を負いません。

●応募者の公平を期するため、個別の締切延長等はいたしませんのであらかじめご了承ください。

●講師・テーマの掲載順は、一旦Wordデータの順で記載お願いします。

●締切当日は、アクセスが集中し回線が混雑することにより、演題登録に支障をきたすことも予想されます。

締切直前を避け、なるべく早い時期に余裕をもってご登録いただきますようお願いいたします。

演題応募に際しては、ホームページに記載の「症例報告を含む医学論文および学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針((社)日本外科学会)」を必ずご参照の上、著者の責任においてご応募いただきますようお願いいたします。

学会ホームページ <http://www.127chubuseisai.jp/>

【事務局】 信州大学医学部運動機能学教室 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 TEL:0263-37-2659 FAX:0263-35-8844

【運営事務局】 株式会社 ネクステージ

〒920-0059 石川県金沢市示野南45番地 TEL:076-216-7000 FAX:076-216-7100

第127回 中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 — 整形外科の glocalization —

会期：2016年9月30日（金）・10月1日（土）

会場：まつもと市民芸術館・ホテルブエナビスタ

会長：加藤博之 信州大学医学部運動機能学教室 教授

文化講演

1. 馬場久敏（福井大学名誉教授）
「SICOT-Japan 外傷医学マケレレ教育センター（ウガンダ）の設立と活動」
2. 橋本聖子（参議院議員）
「オリンピック・パラリンピックがもたらすもの」 —スポーツを通じた人材育成と健康街づくり—

招待講演

1. Peter C. Amadio, M.D. (Mayo Clinic) Tissue engineering for tendon surgery
2. Mark Weidenbaum, M.D. (Columbia Univ.) Surgical strategy for adult spinal deformity(仮題)
3. Peter O. Newton, M.D. (UCSD) Managements for adolescent idiopathic scoliosis(仮題)
4. Jaiyoung Ryu, M.D. (West Virginia Univ.) A new way to fix scaphoid fractures and nonunions
5. 張 英澤（河北醫科大學副校長） 中国外傷整形の現状と未来

glocalization 講演(仮題)

1. 脊椎手術 榎田 誠（鳥取大学医学部運動器医学分野准教授）
西良浩一（徳島大学大学院医歯薬学研究部運動機能外科学教授）
2. 膝関節手術 池内昌彦（高知大学医学部整形外科教授）
三浦裕正（愛媛大学大学院医学系研究科整形外科学教授）
3. 骨病変の治療 山本哲司（香川大学医学部整形外科教授）
須藤啓広（三重大学大学院医学系研究科整形外科学教授）
4. 生体材料 齋藤直人（信州大学先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所所長）
内尾祐司（島根大学医学部整形外科学教授）

パネルディスカッション(一部演者指定)

1. 軟骨肉腫の術前診断と治療
2. スポーツ選手の反復性肩関節脱臼の治療戦略
3. DDHと側弯症における小児検診
4. 整形外科医が目指すリウマチ治療

主題

- ・生体材料 up to date
- ・体幹部悪性骨軟部腫瘍
- ・肩関節拘縮症
- ・手根管症候群再手術例
- ・リウマチ頸椎再建術
- ・最小侵襲脊椎安定術
- ・TKA成績向上のコツ
- ・ACL再建—手技の工夫—
- ・腱・靭帯損傷治療の工夫
- ・希少例の報告
- ・RA生物学的製剤使用時の工夫
- ・四肢血管腫に対する治療
- ・高齢者肘関節部外傷
- ・母指CM関節症の手術
- ・10歳台の腰椎椎間板ヘルニア
- ・脊椎ナビゲーション手術
- ・セメントTHAにおける工夫
- ・初回膝蓋骨脱臼の治療戦略
- ・骨折保存療法の適応と工夫
- ・創傷管理における陰圧閉鎖療法
- ・骨粗鬆症治療薬のピットフォール
- ・腱板断裂の治療
- ・橈骨遠位端骨折後の骨粗鬆症治療
- ・橈骨遠位端骨折治療の合併症とその対策
- ・化膿性脊椎炎の診断と治療
- ・THAにおけるbone stock温存法
- ・人工関節感染の治療戦略
- ・半月板損傷縫合術—適応拡大の功罪—
- ・足部・足関節疾患の治療の工夫
- ・3Dプリンターを利用した手術

教育研修講演

1. 朝貝芳美（信濃医療福祉センター所長）
 2. 福嶋義光（信州大学医学部附属病院遺伝子診療部部长）
- 乳児股関節脱臼—予防と検診のポイント—
整形外科領域の遺伝子診断

シンポジウム(演者指定)

脊柱変形治療の最前線

外傷パネル(演者指定)

1. 骨欠損に対するMasquelet法
2. 区画症候群の診断と治療
3. ビデオ手技「上腕骨近位端骨折」、「大腿骨近位部骨折」、「橈骨遠位端骨折」